

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	医療機器整備事業	会計	病院事業	事業No.	609	施策順No.	32-006
		事業種別	政策・重点	予算科目	1-1---99		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	経営企画課		
施策	32 医療の充実		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	二次医療圏(飯田下伊那地域)の住民及びその他の飯田市立病院利用者					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						
		飯田市及び下伊那郡の住民(人口)	19年度	20年度	21年度	22年度		23年度
			173092	172122	170577	169303		171000
意図	当地域の医療圏において適正な医療が受けられる							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	患者満足度調査 外来患者満足度	88.2	90.9	93.1	93	92.4	95	B
	患者満足度調査 入院患者満足度	96.2	92.7	93.1	94	94.4	95	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	前年度に比較して、入院の満足度は上がったが、外来の満足度は下がった。また、目標には到達しなかったため目標達成度はBとなったが、平成22年度も黒字決算となり、経営状況は良好であるし、必要な医療機器を整備している。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	耐用年数が経過し、老朽化した医療機器の更新。 日進月歩の医療の中で良質な医療水準を確保するための高度な医療機器の整備。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	医療機器の購入及び医療システムの開発 医療機器及び医療システムの購入 決算額709,146千円 手術室・ICU生体情報モニター、手術台セット、電動ベット、脊椎ナビシステム、腹部エコー、電子カルテシステム、情報機器及びシステム開発 ほか		
23年度実施計画	医療機器の購入及び医療システムの開発 医療機器及び医療システムの購入 485,000千円 X線CT(64列)、脳外科手術顕微鏡システム、X線骨密度測定装置、電動ベット ほか		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 ・医療施設整備事業補助金 ・国保調整交付金 ・病院事業債 充当率100%
	一般財源					
	国庫支出金		3,000	2,625		
	県支出金			2,587		
	起債		761,400	701,300	480,300	
	その他		34,600	2,634	4,700	
	計 (A)		799,000	709,146	485,000	
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)			0		
	トータルコスト A+B			709,146		

4 事業に対する市民や議会の意見

○医療圏の中核病院として、良質な医療の提供、地域にとって必要な医療の提供に取り組んでいる。 積極的な対応…救命救急医療及び急性期医療に必要な医療機器の充実、がん診療等における高度医療
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	医療が必要な人が必要な医療を受けられる。	施策の成果指標又はムトス指標	必要な医療が受けられると感じる市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	最新の医療機器を導入することで、患者さんへの負荷が少なく、より精密な検査、より適切な治療が可能となる。計画的に医療機器の充実を図ることで、医療の質向上を図ってきた。		
	後期に向けた課題	今後とも健全経営を保ちながら機器の充実に努めていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	年次計画により優先度の高い医療機器から整備を進めてきた。心臓血管外科や眼科の再開、産科の分娩室増加など、緊急案件についても迅速に対応し、機器の整備を進めてきた。		
	後期に向けた課題	今後とも計画的に医療機器の充実に努めるほか、緊急案件についても迅速に対応する。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	高額機器の納入については競争状態を保つことにより値引き交渉を行ってきた。機種選定については院内で検討を行っている。		
	後期に向けた課題	今後とも、他院の導入実績を調査するなどして適正価格による納入に努める。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	診療報酬として評価される		
	後期に向けた課題	変化なし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	飯田市立病院はかなり積極的に機器の整備を行っている。		
	後期に向けた課題	事業の目的が事業No605「市立病院運営事業」と同一であり、医療機器の整備も含めての医療の質の向上であるため、管理表を統合したい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------